静岡ガス　清水町
活性化へ包括連携協定
全社体制で提案の知恵絞る
婚活イベントひとまず成功
地域課題解決しブランド力強化

清水町・静岡ガス株式会社 協力と連携に関する包括協定締結式

静岡ガス岸田社長（右）と関清水町長

婚活イベントには18人が集まった

清水町加藤課長（左）と大川企画課長

料理教室のチラシなども参加者募集した

静岡ガス福本支社長（左）と今村リーダー

自治体と企業の連携協定について

静岡ガスのプロフィール
▼本社＝静岡市駿河区▼設立＝1910年▼社長＝岸田裕之▼供給区域＝静岡市、富士市、富士宮市、沼津市、三島市、裾野市、清水町、長泉町、函南町、袋井市、御殿場市▼需要家件数＝32万1854件（2019年度見込み。普及率61.5％）▼グループ会社＝都市ガスの中遠ガス、袋井ガス、下田ガス、御殿場ガス、島田ガス、信州ガス、吉田ガス、佐渡ガス、プロパンガス販売などの静岡ガスエネルギー、電力販売などの静岡ガス＆パワーなど

港文館前石川啄木像（北海道釧路市）
ガス燈のある街
26年という短い生涯に、人の心に残る詩歌をたくさん残した石川啄木。釧路には76日間滞在し、釧路新聞の記者として在籍しました。そのゆかりで、街には彼の歌碑がいくつも存在します。当時の新聞社社屋を復元した港文館もそのひとつ。啄木像のたもとに歌碑があるほか、ここのガス燈のポールにも歌が刻まれています。
撮影：川村典幸

交流の場づくりへの貢献
地域政策に幅広い協力
自社資源を地域創生に投入

市民同士が普段から交流し、困りごとがある際は相互に助け合える関係を築くことで地域は活性化し、住民定着にもつながる。それには自治体、住民、企業、市民団体などの連携が必要であり、地域に根差した都市ガス会社が貢献できる分野は多い。今回は、「交流の場づくり」に貢献することで、多様な自治体の施策に協力する久留米ガスと静岡ガスの事例を取り上げる。

久留米ガス　久留米市　協働CASE
市民活動支援で協働
住みやすい街づくりに貢献
地元連合が初の受託
市民に浸透するPR活動を

専門家を招いて月1回程度開く、みんくる主催の意見交換会

みんくる主催の市民活動体験会

みんくる おきなセンター長

久留米ガス 原田社長

久留米市 古賀主査

みんくるスタッフ手作りの市民活動の体験・参加・協力をする

解説　ガス会社の指定管理事業

ガス時代に指定管理事業を立ち上げた。

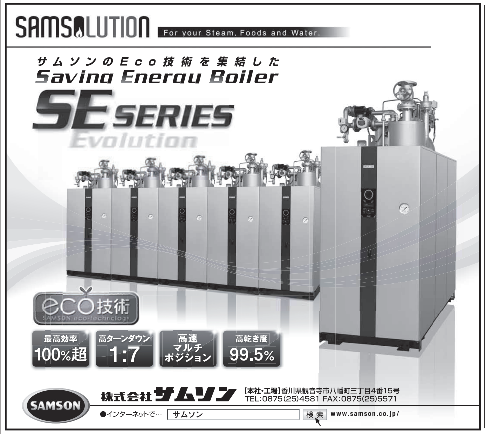
都市ガス会社の指定管理者受託状況

会社名	施設数
サーラエナジー（中部ガス不動産）	128
大阪ガスのグループ会社	45
日本ガス（ニチガスクリエート）	22
滝川ガス	21
西部ガスおよびグループ会社	9
合計	225

施設種ごとの数

施設の種類	施設数
住宅・団地	184
スポーツ施設	28
その他	13

2018年4月時点。指定管理者名に「ガス」の入っている都市ガス会社、都市ガス会社の子会社、そのいずれかが参加した共同事業体を抽出した。総務省「公の施設の指定管理者制度の導入状況等に関する調査結果」（2019年5月発表）より

原田社長は「自治体側が、単に財政が苦しいから、民間に低コストでやってもらおうという認識から脱しないと、民間においても持続可能な事業にならない。民間が一定の専門性があるという付加価値があることを別の視点から評価すべきだ」と、財政的充実が必要だと指摘している。

久留米ガスのプロフィール
▼本社＝福岡県久留米市▼設立＝2008年▼社長＝原田浩▼供給区域＝久留米市▼需要家件数＝3万1012件（2019年度見込み。普及率43.8％）▼09年度に久留米市企業局水道ガス部からガス事業を譲り受け、営業を開始。14年に久留米でのガス事業100周年、19年3月に久留米市水道ガス部から譲渡され10周年を迎えた。